

調査研究

ピアノ曲事典

この春はピアノ曲事典にとって大きなニュースがありました。副編集長の上田泰史さん(研究会員)が「育志賞」を受賞したことです。その報告を中心として直近の動きをご紹介します。

上田泰史さん 「育志賞」受賞 感想と抱負



上田泰史さん

(取材・文:飯田有抄(研究会員))
上田さんはこれまでにピアノ曲事典に100を超えている解説文を書いてきたほか、「チェルニー30番再考」などの人気連載記事も寄稿。また、執筆者やピアニストなど多くの音楽家を協力者としてスカウトするなど、多大な貢献をしてきました。そ

の上田さんが音楽学者として取り組んでいる専門分野は、19世紀のパリにおけるピアノ教育です。今回の受賞は、その研究が高く評価されたものです。

「育志賞」は天皇陛下が即位20年にあたって資金を贈られて設立された荣誉ある賞で、全国の各大学のトップクラスの若手研究者に贈られるもの。去る3月4日(水)、天皇、皇后両陛下臨席のもと、上野の学士院会館で授与式が行われました。

上田さん:「天皇陛下が若手研究者を支援なさりたいというお気持ちが強くと反映された賞ということ、大変光栄です。私の研究は、音楽を楽譜の中だけで完結するのではなく、ピアノ教育を社会・思想・歴史・教育といった広い視点から総合的に捕らえているものなので、その姿勢を評価していただきました。」

研究内容については、両陛下から直接お声掛けをいただいたそうです。

上田さん:「皇后美智子様はご自身もピアノを弾かれますから、芸術に関心がおありです。研究内容について尋ねられましたので、『シヨパンのような作曲家は、現代では『古典』という権威をあたえられています。音楽はいつ



音楽研究者の受賞は初

どのようなプロセスを経て古典となるのか、そこに関心があります」と答えました。すると皇后様は「当時はそういった作曲家(シヨパンら)は、まだ広くは知られていませんでしたでしょう。ピアノよりオペラが社会の中で重要な役割を果たしていた時代ですね。古典というものが一方で、新しい流れもありましたね」と、当時の音楽文化に対する広い視野からのご興味を示してくださいました」

上田さんは2013年にパリ第4大学音楽学修士号を取得。現在もパリで研究を続けながら、在籍中の東京藝術大学の博士論文を執筆中です。研究のテーマは、「1850年代から80年代までのパリ国立音楽院におけるピアノ教育のレパートリーの成立過程とその諸要因」。

上田さん:「日本のピアノ教育を知るために

は、日本の近代化、つまり西洋の文化を受け入れてきた過程を知る必要があります。そのためには、その「親」である西洋の事情を知らなければなりません。パリはヨーロッパの中でも近代化が最も進んだ都市の一つです。そこでどのようにピアノ曲の作曲や出版や教育が行われてきたのかを探りたいと考えました。

そこで着目したのは人々の『レパートリー』となり、『名曲』とか『古典』と呼ばれるようになった作品です。『名曲』・『古典』という権威は、いったいどのように発生したのでしょうか。私は19世紀のパリ音楽院の実技試験で弾かれて来た作品をリサーチし、その究明にあたっています」

上田さんにとって、ピティナの活動は「研究者が社会と接する窓口」とのこと。

上田さん：「会員の先生方とは、なかなか直接お会いできることは少ないですが、先生方がレッスンの中でも役立てられる知識、たとえば作品が生まれた当時の社会制度などの情報をご提供できるかなと思っています」

ますます充実の研究成果が期待される上田さん。若手研究者としての最前線での活躍に注目です！

ピアノ曲事典の整備状況

2015年1～3月

この3か月で追加された音源は285点。ピアノ曲事典で聴ける曲は過去最速のペースで増えています。また、楽曲解説文の大幅増を計画し、現在進めています。どうぞご期待ください。



4音源以上を提供していただいたピティナ会員一覧

演奏者名(敬称略)	登録数	主な曲目
赤松 林太郎(正)	67	バルトーク《ミクロコスモス》
小倉 貴久子(正)	47	モーツァルト《ピアノ・ソナタ第17番》
村井 頌子(正)	36	ヘンデル《組曲第1集》
中川 京子(正)	23	ショパン《ワルツ第1番》
ミハイル・カンディンスキー(正)	19	チャイコフスキー《18の小品》
高山 三智子(正)	17	メトネル《回想ソナタ》ほか
日置 寿美子(正)	15	ヴィラ・ロボス《ブラジル風バッサ第4番》ほか
大竹 紀子(正)	13	ルメ《4分の5拍子のバラード》
喜多 宏丞(学)	6	フランク《プレリュード、アリアとフィナーレ》ほか
中村 純子(演)	6	ヘラー《ソナチネ》
今野 尚美(正)	5	寺島陸也《ピカソくんをたたえて》
小林 侑奈(学)	5	スクリャービン《2つの詩曲》
高木 早苗(正)	4	シューベルト《ソナタ18番》
東 桂子(正)	4	アーン《3つのアイルランド民謡による前奏曲》

※(正)正会員、(演)演奏会員、(学)学生会員

詳しくはこちら

ピアノ曲事典

検索

